



やさしく伝える 千葉県男女共同参画センター

今日、男女共同参画施策は国の基本計画に基づき、県においても計画が策定され施策が取り組まれていきます。役割分担を打破し、男女が共に家事・育児・仕事・社会活動に携われる時代です。その中心となる千葉県男女共同参画センターが、またまた突然のように移転するのです。

9月議会で中央児童相談所が現在の男女共同参画センターが入っている青少年会館を改修して移転するとの発表がありました。青少年会館は「公の施設の見直し方針」により廃止する方向です。男女共同参画センターは青少年会館の廃止に伴い、現在閉鎖しているキャリアアップセンターへの移転予定は2018年となっています。

この間、柏の葉の「さわやか県民プラザ」から千葉市稲毛区天台の「青少年女性会館」へ、そして今度は千葉市中央区都町の閉鎖中の「キャリアアップセンター」へと移動。こんなにフラフラと

男女共同参画センターが移動するということは、千葉県において男女共同参画施策が軽んじられていた証拠です。

移転・改修にあたっては男女共同参画センター利用者の声を聞いて、腰を落ち着け施策に取り組んでもらいたいものです。（写真は12月22日、移転先を見てきました）

千葉県男女共同参画センターの変遷

時期	名称と所在地	備考
1996年 11月15日	「千葉県女性センター」開設 (所在地) 柏市柏の葉 4-3-1 さわやかちば県民プラザ内	財団法人千葉県青少年女性協会に運営を委託
2006年 8月1日	「千葉県千葉ちば県民共生センター・同 東葛飾センター」設置 (所在地) 千葉県稲毛区天台 6-5-2 千葉県青少年女性会館内 本館 (東葛飾センター所在地) 柏市柏の葉 4-3-1 さわやかちば県民プラザ内 分館	千葉県の直営施設
2012年 4月1日	「千葉県男女共同参画センター」に名称変更 (所在地) 千葉県稲毛区天台 6-5-2 千葉県青少年女性会館内	分館を本館に統合し、名称を変更

関係する施設の現況及び移転案

施設名	中央児童相談所	青少年女性会館 ③改修工事 H30、31	旧ちばキャリアアップセンター① ①改修工事 H29
住所	千葉県稲毛区天台 6-5-2	千葉県稲毛区天台 6-5-2	千葉県中央区都町 2-1-12
構造等	S47 築 RC 2階 Is 値 0.45	S56 築 RC4 階 Is 値 0.98	S56 築 RC4 階 Is 値 0.66
延床面積	1,588 m ²	4,657 m ²	2,360 m ²
現在の入居機関	中央児童相談所	男女共同参画センター 千葉県子ども・若者相談センターほか	未利用
整備後の入居機関		中央児童相談所 警察少年センター	男女共同参画センター 千葉県子ども・若者相談センターほか

環境生活警察常任委員会から

環境生活部関連の質問は館山市坂田の残土埋め立て事業、君津市でアラックスが行っている産業廃棄物管理型処分場、野田市南部工場団地内の柏廃材、東京湾岸に建設予定の石炭火力発電所について質問しました。化学物質過敏症、体調不良で苦しむ野田市柏廃材の周辺の人々の健康被害に取り組んで10年以上経過しました。しかし、いまだに柏廃材は稼働し、県が勧告を出した2013年8月から3年以上たっても効果的改善は行っていない。県の廃棄物指導課（許認可権を持つ）の事業者への対応が弱いと思えます。警察関連では、「高江ヘリパッド建設の即時中止と機動隊の撤収を求める意見書」を提出しました。極めて高度な政治課題であり、本来政治の領域であり不



12月13日名護市の浅瀬に墜落したオスプレイ。高江の住民の生活はオスプレイに脅かされ続けています。

「夜間定時制高校の給食継続を 求める請願」 またも継続審査

県内定時制高校の17校のうちすでに試行的廃止として5校から給食がなくなっています。このことに危機感を抱いた定時制高校生、先生、卒業生たちにより、9月議会に請願が提出されました。9月議会は継続審査であり、12月議会では本会議でも質疑され、県は「経済的に困窮している生徒に何らかの支援を検討する」との方針を示しましたが、その具体策は全く決まっていりません。廃止された学校は、生徒同士、生徒と先生とのコミュニケーションの場はなくなり、栄養バランスのとれた食事もなくなり、経済的負担が増すばかり。まだ育ち盛りの生徒にとって必要な給食を廃止するの、定時制高校に通う生徒にとって辛いものです。全国的に見て27都道府県は全ての学校で、一部の学校での給食実施が14県です。「夜間課程を置く高等学校における学校給食に関する法律」では「国及び地方公共団体は夜間給食の普及と健全な発達を図るよう努めなければならない」とあります。定時制高校に通う生徒から給食を奪うような千葉県の教育は許されるものではありません。

行ってきました、見てきました

千葉県障がい者スポーツ・レクリエーションセンター



千葉県からモノレールでスポーツセンター駅下車。徒歩7分ほどの所にある県の施設です。体育館・多目的室、音楽室、教室、文化室があり、身体・知的・精神の多くの団体が利用しています。障がい者団体の利用は無料です（写真はサウンドテーブルテニスの台の前に）。体育館では車いすバスケットの練習を見学させていただきました。全日本の選手も2名いました。これから2020年パラリンピックをめざし練習にも熱が加わる事でしょう。千葉県の施設はこの一カ所だけです。ここではリハビリも取り組んでいます。県内にもっと障がい者もスポーツが楽しめるような施設が欲しいものです。設備も指導者も足りないのが現状です。

千葉県からモノレールでスポーツセンター駅下車。徒歩7分ほどの所にある県の施設です。体育館・多目的室、音楽室、教室、文化室があり、身体・知的・精神の多くの団体が利用しています。障がい者団体の利用は無料です（写真はサウンドテーブルテニスの台の前に）。体育館では車いすバスケットの練習を見学させていただきました。全日本の選手も2名いました。これから2020年パラリンピックをめざし練習にも熱が加わる事でしょう。千葉県の施設はこの一カ所だけです。ここではリハビリも取り組んでいます。県内にもっと障がい者もスポーツが楽しめるような施設が欲しいものです。設備も指導者も足りないのが現状です。